

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	心身障害者福祉年金給付事業		コード	担当課係	市民福祉課福祉係
			02-01-03-16	担当者	藤原弘章
事業実施期間	昭和42年～平成19年		電話	72-1104	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	障害者（児）福祉			
	施策	在宅福祉サービスの充実			

事業について	
目的	心身に障害のある方に対して障害者福祉年金を支給し、感謝激励する
対象（誰のために）	備前市日生町に居住し、満20歳以上で身体障害者1級～3級、又は療育手帳Aの交付を受けている者
内容	年額13,200円の障害者福祉年金を年2回に分けて支給する

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
支給人数（前期）	229 人		
支給人数（後期）	238 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,998	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	404	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,402	一般財源等	3,402	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.05	人		
結果指標名	支給人数（前期）			
結果指標量	229			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	3,402,000	円		
単当たりコスト①	14,856	円		

結果指標名	支給人数（後期）			
結果指標量	238			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	3,402,000	円		
単当たりコスト②	14,294	円		

事業の成果			
成果指標名	申請率	式又は説明	支給人数（238人）/対象障害者数（258人）
成果指標量	17年度 92.2%		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100.0%	到達目標年度	平成19年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	事業対象が日生町地区に限定されており、平成19年度までで事業が完了する
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
市の関与の妥当性	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
効率性の評価	手段の最適化	支給額は障害者の増減に連動しており、増減はやむを得ない
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	支給対象者は障害者手帳等の申請時に同時把握しており、対象者の把握はほぼ完全にできている
	成果向上の可能性	
市民参画度	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E>
コメント	合併時の申し合わせに基づき、平成19年度いっばいで事業を完了する	C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	229	結果指標量②	238
目標値	成果指標量	100.0%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	平成18年度支給額8,800円、19年度支給額4,400円（19年度で事業完了）	平成19年度	コスト削減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。